



# One-Bo Ciel 利用インタビュー

株式会社トリリオン 様





## 株式会社トリリオン

経営管理部  
露崎 遼太 様

### 株式会社トリリオン

株式会社トリリオン（以下、トリリオン）は、浴場リニューアルの設計・施工業務から、温浴施設の運営事業者向けにコスト削減、営業停止リスクの低減、人財不足の解消を実現する「ふろビト」による温浴事業課題解決サービスを提供しています。これらのサービスを通じて、温浴施設業界の支えとして幅広い役割を果たしています。従業員数は約30名と少数精鋭であり、従業員およびその家族を大切にする企業文化が根付いています。また、独自の福利厚生制度として「温浴施設利用補助制度」を設けるなど、温浴施設業界に特化した福利厚生を完備しています。

### オフィス移転を機に、ミーティングボックスの導入を検討

トリリオンは、温浴施設の設備保全などのサービスを全国に提供しており、お客様とのWeb打ち合わせが頻繁に行われます。以前のオフィスでは、天井が吹き抜けの会議室があり、Web打ち合わせはそこで行うか、執務室の隅で周囲に気を使いながら実施していました。移転前からミーティングボックスの存在を知っていたものの、設置できるスペースに限りがあり、導入を断念していました。今回の本社移転をきっかけに、社員の柔軟な働き方に対応できるよう、念願だったミーティングボックスの導入を本格的に検討し始めました。



## コンパクトなサイズ感と圧倒的な低価格が決め手

One-Bo Cielを購入した決め手は主に2つあります。1つ目は「サイズ感」です。オフィスの天井が最も低い箇所で約 2250mmしかなく、設置可能なミーティングボックスが限られていました。しかし、One-Bo Cielは天井高が2200mmでも設置可能で、弊社のオフィスも設置条件を満たしていました。2つ目は「価格」です。類似の設備を備えたミーティングボックスの中で、できるだけ低価格なものを選びたいと考えていました。数あるメーカーの製品を検討した結果、One-Bo Cielが最もリーズナブルでありながら、室内のボタンひとつで透明なガラスドアが曇りガラスに変わる「スマートガラス機能」も標準装備されている点に魅力を感じ、購入を決断しました。

## 既存スペースとの使い分けが可能に

実際にOne-Bo Cielを設置してみると、社内の会議室・オープンスペースとミーティングボックスを使い分けることができるようになりました。オープンにしたくないWeb打ち合わせは、One-Bo Cielで行い、比較的オープンな内容は会議室やオープンスペースを活用するなど、打ち合わせの内容に応じて場所を選択しています。以前のオフィスにはプライバシーを確保できるクローズドスペースが不足していたため、1対1でのWeb打ち合わせ用の空間を作れたことは特に嬉しいポイントです。





従業員は、周囲を気にせずに打ち合わせを行ったり、集中して作業に取り組みたいというニーズを持っています。One-Bo Cielを使用する際には、多くの従業員がプライバシーを確保するためにスマートガラスを ONIにしています。透明なガラスドアでは個室でも抵抗感を感じることもあるかもしれませんが、スマートガラス機能により周囲の視線を遮ることができ、ミーティングボックスを快適に使用できていると社員からも好評です。

### 手軽にクローズドスペースがつけれるOne-Bo Ciel

私たちは、従業員一人ひとりが柔軟な働き方を実現できるオフィス環境を目指しています。以前のオフィスでは、オープンスペースを広く取っていたのですが、多くの従業員から個室での打ち合わせに対するニーズがありました。そこでオフィス移転を機に、ミーティングボックスを設置することにしました。

プライバシーを保ちつつ、集中してコミュニケーションを取ることができるクローズドスペースは、多くの企業にとって必要不可欠です。One-Bo Cielを利用して簡単に区切られた空間を設けることで、社員が打ち合わせをする際の安心感が向上しました。特にスペースに制限のあるオフィスにおいては、弊社の経験からも One-Bo Ciel の設置を強く推奨します！